

水・土・棚田の全国百選輝く、村の「十宝」を活かした、笑顔に満ちた”トーホー百笑村“の創出

東峰村農林業振興協議会（東峰村宝珠山）

【地域協議会構成団体】 小石原陶の里、つづみの里農産物直売所、東峰村（事務局）、JA筑前あさくら、朝倉森林組合、東峰村農業委員会、指導農業士、女性農村アドバイザー、チンゲン菜部会、産直がんばろ会、なし部会、農産加工部、庭先野菜、集落営農組合、宝珠山ふるさと村

1. 将来ビジョンの作成

策定年月：平成27年8月

- ・村内の生産者や就農希望者などと共に協議会会議を、ワークショップも含め全5回開催。（のべ254名）
- ・会議で出た東峰村像を元に取り組を作成し、会議室に掲示し、共通意識をもつようにした。



【アイデアを出し合い模造紙にまとめる】



【まとめたアイデアを練る】

2. 将来ビジョン達成のための取組

I 農林業を守る

ライスセンター受託面積 — 作業：約2ha、生産：約1.3~1.4ha → 30年度 約4ha

II 農林業の所得や雇用を増やす

6次化商品（米粉パン）生産・販売 — ふるい機により、生産スピードが上がり、直売所と別口の注文にも対応できるようになった。前日の残りはラスクにして再販売。
農産物品目の拡大 — パイプハウス、発芽育苗ヒーターにより、生産に広がりが出た。

生産数 H28：約200ポット→H29：災害→H30：300ポット

III 地域の人口を増やす

直売所店頭イベントや村の景観イベント等開催。
地域おこし協力隊員が婚姻し、村民となり、出産子育て中。



【村産米100%の米粉パン3種】



【直売所イベント:ジビエおこわ】



【野菜育苗】

3. 今後の展望

○平成29年度福岡県6次化商品コンクールにて特別賞を受賞したドレッシングをはじめ6次化商品の宣伝に力を入れる（小石原焼きの入れ物に入れる等）、棚田以外のインスタ映えポイント（一見洋画のワンシーン等）紹介等、村全体で村の魅力を増やし情報発信に厚みを持たせ、訪問者数増加から移住・定住に繋げていく。

○農産物や6次化商品の安定した生産量や販売拡大のため、後継者育成の必要がある。

○中山間応援サポーター制度の活用により交流増加と情報発信を図る。

○生産者の高齢による離職前に農産加工技術を継承し、地域特産品を守っていく必要がある。

（H30から味噌や柚子胡椒を生産販売を開始）

平成29年7月の九州北部豪雨災害により事業は一旦中止したが、平成30年度より再開。直売所再開や規模が小さなイベントを行うなど復旧復興へ前進中。



【手作り味噌】



【柚子胡椒】